

二次分析道場！

日時： 2018年3月8日（木）～3月9日（金） 10:30～17:00
場所： 東京大学（本郷キャンパス）赤門総合研究棟5階・センター会議室（549号室）
料金： 一般 10,000円、学生 5,000円
講師： 石田浩（東京大学）・三輪哲（東京大学）
定員： 25名

■本コースの内容

個票データの二次分析に関する総合的な応用コースです。東京大学社会科学研究所にてデータアーカイブや社会調査に携わってきた講師によって、公開データへのアクセス方法、計量分析の基礎と応用、社会科学の考え方を解説します。また、実際に統計ソフト SPSS を用いてデータ分析の練習をします。SSJ データアーカイブに寄託されているリアル・データを使って、実践的な二次分析を一通り体得できることが特徴です。

■次のような方におすすめです

- ・統計の初歩はマスターしたので、いよいよ計量分析による実証研究に挑戦したい
- ・公開データを使って、計量的な論文を作成したい
- ・どうやって統計モデルによって仮説を検証するのか、その方法を習得したい
- ・カテゴリカルデータ分析（クロス表、ロジスティック回帰分析）の応用の仕方を学びたい
- ・計量分析と社会科学の方法について、復習したい

■注意事項

- ・SSJ データアーカイブのデータを利用するため、大学または公的研究機関所属の研究者・学生（学部生も可）、SSJ データアーカイブへデータを寄託されている民間研究機関の方のみを対象とします。
- ・本コースは SPSS の操作を学ぶことではなく、二次分析の研究方法の習得を目的としています。そのため、SPSS の基本的操作（立ち上げ方やファイル保存、表の出力の仕方など）および初等的な統計学の知識（クロス集計表、統計的検定、測定の尺度、回帰分析など）のある方に受講を限らせていただきます。これらの予備知識のない方は、「二次分析入門！」コース（3月5日開催）の受講や自習などでご準備をお願いいたします。
- ・受講にあたり、以下の条件を満たすご自身のノートパソコンをご持参ください（分析ソフト SPSS がインストールされている必要はありません）。

【パソコンの条件】

OS： Windows 7/ 8/ 10 （Mac は対応していません）
メモリ： 4GB 以上（64ビット版の場合は8GB以上推奨）
HDD 空き容量： 2GB 以上

- ・SPSS がインストールされていないノートパソコンをご持参の方は、1日目（3月8日）の講義開始前にインストールを行いますので、10時00分までに会場にお越しください。インストール済みの場合は講義開始時間の10:30までにお越しください。

■本コースの日程・概要

- 1 日目 二次分析とは？／データアーカイブの意義と役割／計量分析研究の基礎と「問い」
「仮説」／調査データの特性と誤差／欠損値とそのさまざまな扱い方／一変数分布の問
いに対応する統計モデル／交互作用の検討
 - 2 日目 多変数の関連とシステム分析／パネルデータのハンドリングと分析／二次分析の可
能性／二次分析のまとめ方とポイント／二次分析のマナー
- * 進捗によって、日にちごとの内容が若干変わることがあります。